

2024年12月27日

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

報道関係者各位

【読み終えた本でつなぐ、子どもワクチン支援×国内の障がい者福祉支援】

認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会と
一般社団法人ユニオンブックスがタイアップ。

～就労継続支援A型事業「ほんのきもち」による支援活動がスタート～

感染症で命を落とす子どもたちを救うため、開発途上国の子どもたちへのワクチン支援活動を行う「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」（以下JCV）と、一般社団法人ユニオンブックス（本社：大阪府吹田市、代表：藪田真吾）は、タイアップ契約を締結いたしました。

一般社団法人ユニオンブックスでは、就労継続支援A型事業「ほんのきもち」を通じて、子どもワクチン支援活動に取り組んでいます。寄付専用ボックスをご購入いただき、読み終えた本や使わなくなったCD、DVD、切手、テレホンカードなどを詰めて送るだけで、その査定額がポリオ、はしか、破傷風などのワクチン支援としてJCVに寄付され、途上国の子どもたちの命を守ることができます。さらに、寄付いただいた物品の仕分け作業は、障がいのある方や就労が困難な環境にある方々の就労支援にもつながります。このように、「ほんのきもち」は、ワクチン支援と就労支援を両立するダブルの社会貢献活動です。ぜひご参加ください。

（「ほんのきもち」に関する詳細はこちら：<https://unionbooks.or.jp/news/uorsjj1bp/>）



【読み終えた本で、子どもワクチン支援と国内の障がい者福祉のダブルの社会貢献】

部屋のお片付けをしているときに出てくる本や CD、DVD など。「自分にはもう必要ないけれど、誰かの役に立てられないかな」と思うことはありませんか？「ほんのきもち」は、そうした本や CD などを活用し、その査定額をポリオやはしか、破傷風などのワクチンとして途上国の子どもたちに贈ることができるサービスです。また、集まった本や CD などの仕分け作業は、身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がいや難病を抱える方々の就労支援にもつながります。

1冊の本が広げる新しい未来

あなたの本やCD、DVDが、障がい者や就労困難者の就労支援と子どもたちへのワクチンに繋がり、未来を支える大きな力になります。ぜひご協力をお願いいたします！

01 寄付する人  お申込み後、寄付したい商品を「ほんのきもち」へ送ります。 ※寄付専用ボックスは有料です	02 就労継続支援A型事業 ほんのきもち  本・CDなどの商品を仕分け作業が就労支援に繋がり、一人ひとりの自立をサポートします。	03  JCVに買取金額が全額寄付されます。	04  JCVが世界の子どもたちにワクチン接種支援を行います。
--	--	--	---

【「ほんのきもち」概要】

- 対象物品：本、CD、DVD、スマートフォン、切手、はがき(書き損じはがきも可)、テレホンカード(使いかけも可)、図書カード、クオカード
- 費用：寄付専用ボックス 1,100 円 (税込)
※別途、支払手数料がかかる場合がございます。
※返送料無料
- サービス特設ページ：<https://unionbooks.or.jp/news/uorsjj1bp/>

簡単!詰めて渡すだけでOK!

寄付の手順	STEP1 ネットでお申込み 専用のフォームから寄付のお申込みを行います。  詳細はこちら	STEP2 寄付専用ボックスがご自宅に届く お申込み後、ご購入いただいた寄付専用ボックスがご自宅に届きます。  ※寄付専用ボックスは有料です	STEP3 寄付したい商品を梱包 本やCDなど、寄付したい商品を寄付専用ボックスに詰めます。 	STEP4 配達業者に渡すだけ! 梱包が完了したら、配達業者にボックスを渡して完了です。 
--------------	--	---	--	---

【一般社団法人ユニオンボックスについて】



一般社団法人ユニオンボックスが運営する就労継続支援 A 型事業所「ほんのきもち」は、障がいや就労が困難な方々を対象に、一人ひとりに合わせた支援計画を共に考え、就労を通じた自立を支援しています。単なる就労支援にとどまらず、利用者が安定した収入を得て、社会で活躍できる未来を目指しています。

また、地域とのつながりを大切に、「古本寄付ぽすと」を展開中です。読み終えた本や譲りたい本を店舗や公共施設で回収し、丁寧に検品して再販売することで活動資金としています。さらに、売上の一部は慈善活動を行う NPO 団体に寄付され、地域貢献と福祉支援の輪を広げています。

【1日 4,000 人の子どもたちが予防可能な感染症で亡くなる現実とワクチンの必要性】

ポリオ、はしか、結核などの感染症は、途上国においては日常の脅威として、日々、多くの子どもたちの命と笑顔を奪い続けています。その数は1日 4,000 人。20 秒に1 人の子どもたちがワクチンの接種をすれば防げるはずの病気で亡くなっています。

私たち、「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」(JCV) は、途上国の子どもたちにワクチンを届け、彼らの命と未来を守る活動「子どもワクチン支援」を行う民間の国際支援団体です。感染症のワクチンの多くは1 人分 20 円、高いものでも約 280 円ととても安価です。私たちは UNICEF や各国の保健省と協力し、1994 年の創設から1 億 3,377 万 3,465 人の子どもたちにワクチンを届けてきました。

募金やペットボトルキャップ回収、様々なタイアップ協力などを通じた皆さまのご支援により、2024 年は、ミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの4 カ国に1 億 2,348 万 9,371 円分のワクチンやコールドチェーン機器を贈りました。



【団体概要】

- 団体名：認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
- 代表：理事長 剣持 睦子（ケンモチ ムツコ）
- 創設者：会長 細川 佳代子（ホソカワ カヨコ、細川護熙元首相夫人）
- 本社所在地：東京都港区三田 4-1-9 三田ヒルサイドビル 8F
- URL：www.jcv-jp.org
- 設立：1994 年 1 月 29 日
- スペシャルサポーター：竹下景子（ワクチン大使・女優）、和田毅（プロ野球選手）、早見優（歌手・女優）、三國清三（シェフ・株式会社ソシエテミックニ 代表取締役）、進藤奈邦子（WHO 健康危機管理プログラムシニアアドバイザー）、鏡リュウジ（翻訳家・心理占星術研究家）、安藤優子（ジャーナリスト）、キャップ革命 ボトルマン（株式会社タカラトミー）

<お問い合わせ先>

認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

広報・啓発・教育グループ 乙津

TEL：080-3094-8232 FAX：03-5419-1082

E-mail：otsu@jcv-jp.org